事業所名	福岡市立めばえ学園	（３～５歳児）支援プログラム	作成日	R7 年	1 月	20 日

法人（事業所）理念		・ご利用のお客様の信頼と安心を第一にします。 ・障がいのある方々のくらしをお手伝いします。 ・やる気と工夫で福祉の仕事を広げます。
支援方針		・生活に見通しを持ち、身の回りの自分のことを自分でする意欲を育てます。 ・集団生活の中で簡単な決まりを知り職員や友達との関係を広げます。 ・遊びを通して、情緒の安定を図り、物・人への興味関心、創造性を育てます。 ・全身を使って遊び、基本的運動能力や感覚を育てます。
営業時間		8 時 45 分から 17 時 15 分まで　送迎実施の有無　(あり)　なし
		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	３歳児：基本的な生活習慣（食事、排泄、更衣等）が身につくように方法ややり方を工夫し、丁寧に伝えます。 ４歳児：少しずつ手伝いを減らしていき、自分でできる部分を増やしていきながら、自分でしようとする気持ちを育てます。 ５歳児：自分でできた時にたくさん褒めて自信につなげ、身辺自立の土台を育てます。 ＊お子さまの健康状態の把握や感染症対策をしながら、継続した通園ができるようにし、生活スキルの獲得を促します。
	運動・感覚	３歳児：設定遊具や園庭、テラス等で体を動かす機会を設け、いろいろな体の動きが経験できるようにします。 ４歳児：いろいろな運動遊びを保育に取り入れて、ボディーイメージや運動機能の発達を図ります。 ５歳児：自由遊びや設定保育の中で、保育者や友だちと一緒に身体を動かすことを楽しむ機会を作ります。 ＊遊具・教具の工夫をし、お子さまが意欲的に身体を動かす機会を作ることで、感覚や姿勢、運動、動作の向上ができるようにします。
	認知・行動	３歳児：毎日のルーティンを同じにして繰り返し経験できるようにしたり、集団生活の流れに見通しを持ちやすくします。 ４歳児：生活や遊びの中で、ルールや順番を守ることを繰り返し経験できるようにします。 ５歳児：必要な決まりごとを分かりやすく伝えていき、見通しをもって集団活動を楽しめるようにします。 ＊見てわかる教具・興味を高める教具を工夫し、空間・時間・数等の概念形成や認知の発達を促します。また自発的・適切な行動を増やします。 ＊特性から生じる困り感に対して個々に合わせた適切な支援を行い、行動障害の予防を図ります。
	言語 コミュニケーション	３歳児：自由遊びや設定保育を通して好きな遊びや活動を見つけていき、保育者に要求を伝える意欲を育てます。 ４歳児：伝えやすいコミュニケーション手段の獲得を援助し、保育者や友だちに伝える機会を設けていきます。 ５歳児：生活や遊びの中で職員や友だちと楽しくやりとりをする機会を作り、コミュニケーションの意欲を育てていきます。 ＊見てわかる教具の工夫や伝えたいと思えるもの・人などの環境作りをし、理解や表出の発達を促します。
	人間関係 社会性	３歳児：好きな遊びを通して、保育者が意図的に遊びを共有し人と遊ぶ楽しさを知るきっかけを作っていきます。 ４歳児：生活や遊びの中で、保育者が間に入りながら、友達と一緒に遊んだり関わりを持ったりする経験につなげていきます。 ５歳児：簡単なルールのある遊びを保育に取り入れ、保育者や友だちとルールを守って楽しく遊ぶ機会を設けます。 ＊大人との関わりの中で、受け止め、認められる経験ができるようにし、周囲の人やともだちなど身近な人との関わりや集団参加を促します。

家族支援	・個別面談の機会を通じて、家庭課題を一緒に立案し具体的な支援内容について共有します。 ・学習会を実施し、子育てや福祉サービスに関する情報提供をします。 ・保護者同士の交流の機会を提供します。	移行支援	・卒、転園先の進路先と連携を取り、丁寧な引き継ぎ等を行うことで新しい環境でも安心して過ごせるよう支援します。
地域支援・地域連携	・施設開放日に園庭遊び等を設定し、地域の人と触れ合う機会を設けます。 ・地域の保育園児と交流する機会を設けます。 ・地域の公園へ散歩に行く機会を設けます。 ・地域の施設へ行き、地域の人と触れ合う機会を設けます。（花渡し、お礼状渡し等）	職員の質の向上	・園内研修を計画的に行います。 ・外部からのスーパーバイズを受け、療育の質の向上に努めます。
主な行事等	入園式（４月）、遠足（５月）、家族参観（６月）、プール遊び（７，８月）、きょうだい児保育参加（８月）、運動会（１０月）、家庭訪問（１１月）、クリスマス会（１２月）、卒園式（３月）、誕生会（２ヶ月に１回）　※他にも季節の遊び（豆まき等）やバイキング給食（年１回）を行います。		